

# 地域連携で防災力アップ

～顔の見えるコミュニティが安心・安全の街をつくる～

補足資料①

## 顔の見えるコミュニティの形成はここから始まった

2015  
11/29



桑田中学校体育館集合  
町内会別に整列



北消防署による消火訓練  
の様子

### 第1回 下石井・桑田地区合同避難・防災訓練

下石井・桑田地区合同で避難・防災を行った。  
指定避難所である桑田中学校の収容人数は500人  
対象エリアは出石地区・鹿田地区で人口の割に収容人  
数が少なすぎることからマンション居住者は在宅避難  
になるということを知るきっかけとなった。  
参加者:約230人

2016  
9/11



北消防署・出石分団・危機  
管理室が講話と第一学院高  
等学校生が前で整列の様子



段ボール簡易トイレの作成  
とAED操作指導を受ける

### 第2回 下石井・桑田地区合同避難・防災訓練

・第1学院高等学校生徒の指導のもと段ボールトイレ作成  
・北消防署、出石分団員の指導のもとAEDの使用体験  
・車いすの方も参加  
参加者:172人

2017  
9/10



1階未来スクエアに集  
合した様子



北消防署によるAED操作  
指導を受ける

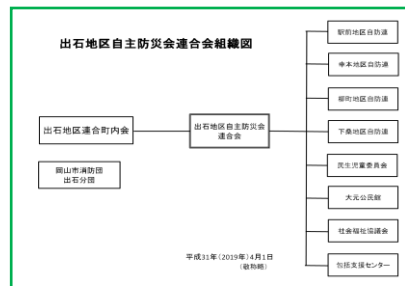
### 第3回 イオンモール岡山と合同避難・防災訓練

「大型商業施設で災害に遭った」と想定し、イオンモール  
岡山店内で避難誘導、防災訓練を行った  
共催/協力:イオンモール岡山、岡山市北消防署、岡山市  
危機管理室、岡山市立大元公民館、日本赤十字社  
参加者:141人

2019  
4月

#### 出石地区自主防災会連合会発足

「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に地域  
全体の防災力UPを図るため出石地区内22町内が  
自主防災組織を立ち上げる。地区内結成率95.6%  
自防連として地区全体の防災を高める活動を始める



2020  
2/16



段ボールベッドの組み立  
てを行っている様子



非常食の試食及び  
受付の様子

### 第4回 合同避難所運営訓練

5町内役員全員が運営委  
員となり役割分担を決め  
避難所運営訓練を行った  
参加者:146人

役名	運営委員	備考
総務	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
副総務	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
会計	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
庶務	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
広報	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
保健	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
福祉	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会
その他	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会	● 避難所運営委員会 ● 避難所運営委員会

役割分担表

#### 自防連の活動

定例会:毎月第3木曜日AM  
活動計画に基づき会議の中で協議

2021  
9/16



岡山市危機管理室と要支援者支  
援の活動を補佐する体制の構築  
について意見交換

#### 2021年度(令和3年度) 出石地区自主防災会連合会 第3回 活動計画

2019年4月出石地区自主防災会連合会にてこの組織が発足し、23の単町内会において自主防災組織  
を立ち上げました。昨年までは出石地区(出石・大元)の町内会・地区を支援するとして  
に災害時避難行動要支援者支援の事業実施を行いました。今年度は23の町内会での町内会・地区に  
関しての色々な事に取組んでいきたいと思っております。出石地区死者の運動を止めましょう。

基本:自分の命は自分で守る

実施内容	実施内容	計画
1 出石地区自主防災会連合会 町内会	1 出石地区自主防災会連合会 町内会	1 出石地区自主防災会連合会 町内会
2 出石地区自主防災会連合会 町内会	2 出石地区自主防災会連合会 町内会	2 出石地区自主防災会連合会 町内会
3 出石地区自主防災会連合会 町内会	3 出石地区自主防災会連合会 町内会	3 出石地区自主防災会連合会 町内会
4 出石地区自主防災会連合会 町内会	4 出石地区自主防災会連合会 町内会	4 出石地区自主防災会連合会 町内会
5 出石地区自主防災会連合会 町内会	5 出石地区自主防災会連合会 町内会	5 出石地区自主防災会連合会 町内会

2022  
7/3



避難行動要支援者個別避難  
計画作成について町内会長  
への説明会を実施  
その後、町内ごとに町内会  
長・民生委員・自防連役員が  
一緒に要支援者宅を訪問  
個別避難計画を作成

## マンション防災の取組

避難訓練に参加し、避難所の収容人数には限りがあることを知ったマンション住民は、**在宅避難**に備えた方が良いと判断。マンション独自の防災を考え始めた。

マンション内で**災害対策委員会**を立ち上げ**自主防災組織**を結成。自分たちの命は自分たちで守るため何が必要か考え、準備を始めた。

### ▲ハード面



防災マンションは  
三つの三角形が合わさって出来る事です!!

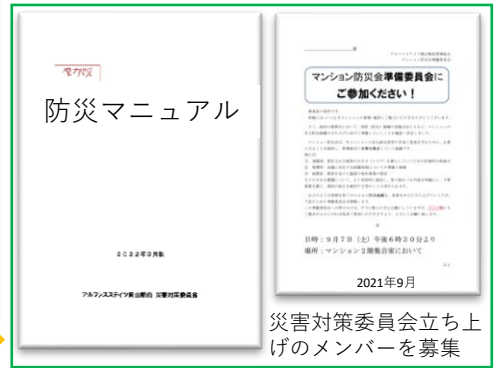
マンションにおける  
在宅避難が可能になります



## ▼コミュニティの形成



### ▲ソフト面



## ●マンションの防災訓練の様子

2021  
12/5



2022  
11/6



2022  
12/10

## ●マンション見学会の様子



公民館事業 ISO防災ワークショップ  
『防災マンションを見に行こう!!』  
講座生や周辺マンション住民がマン  
ションの防災設備を見学。

## 岡山市長に「防災マンション認定制度」の要望書を提出(2023年6月9日)

将来的に防災マンション認定制度の整備と並行して、マンションと周辺町内会と協定を結び、発災時、緊急を要する時には、周辺住民が**一時(いつとき)避難場所**としてマンションに避難できる仕組みづくりをすすめていきます。  
この仕組みこそが、『顔の見えるコミュニティが安心・安全の街をつくる』を後押しし、誰も取り残されないやさしい地域の実現を可能にします。